

バナナの輸入

門司税関の2016年輸入金額過去最高



平成29年11月20日
門 司 税 関

【はじめに】

大正後期、貿易港として発展していた門司港は、台湾バナナが大量に荷揚げされました。当時、輸送中に熟してしまったバナナをいち早く換金するため、露天商などが口上に工夫をこらして客を集め、売りさばっていたそうです。この様子が全国に知られるようになり、門司港は「バナナの叩き売り」発祥の地とされています。

平成29年4月には、「バナナの叩き売り」は、「関門「ノスタルジック海峡」」の構成文化財として日本遺産に認定されました。

今回は、門司港にゆかりのある「バナナ」の輸入にスポットをあててみました。



♪春よ3月春雨に弥生のお空に桜散る・・・
さあさ買った さあ買った～♪

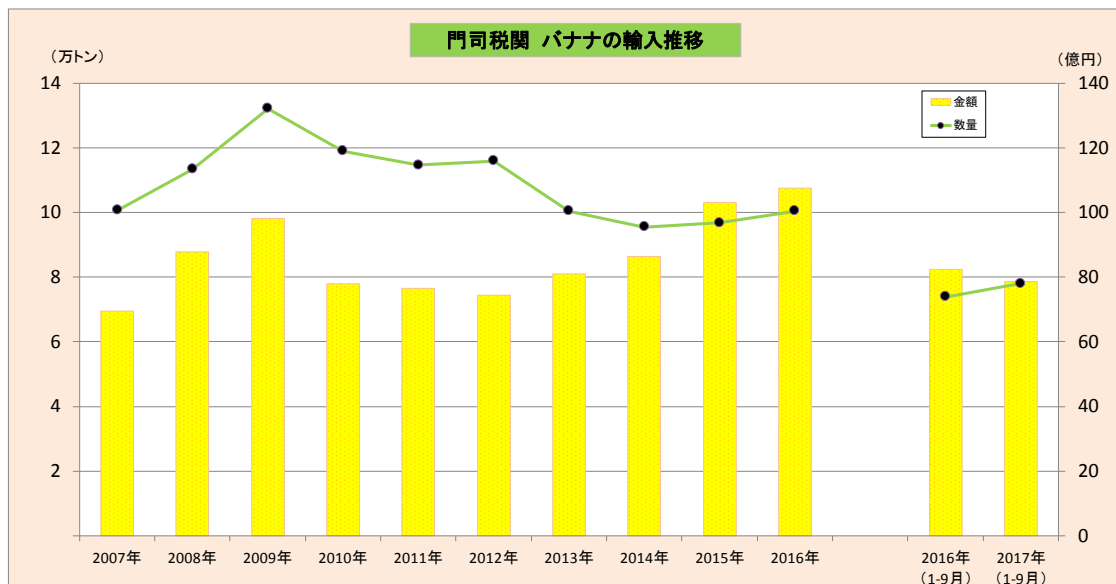
(門司港名物「バナちゃん節」)

【輸入動向】

2016年の門司税関における「バナナ」の輸入実績は、数量10万トン（対前年比3.7%増）、金額は107億円（対前年比4.2%増）で、輸入金額は過去最高を記録しています。

業界によると、2009年に輸入数量が過去最高を記録した後、2012年12月に主生産地であるフィリピンを直撃した大型台風、その後の干ばつ等の自然災害の発生による収穫量の減少、他国における需要の増加、また標高の高い所で栽培される「ハイランド」とよばれる高級なバナナの増加等により、価格が年々上昇しているそうです。

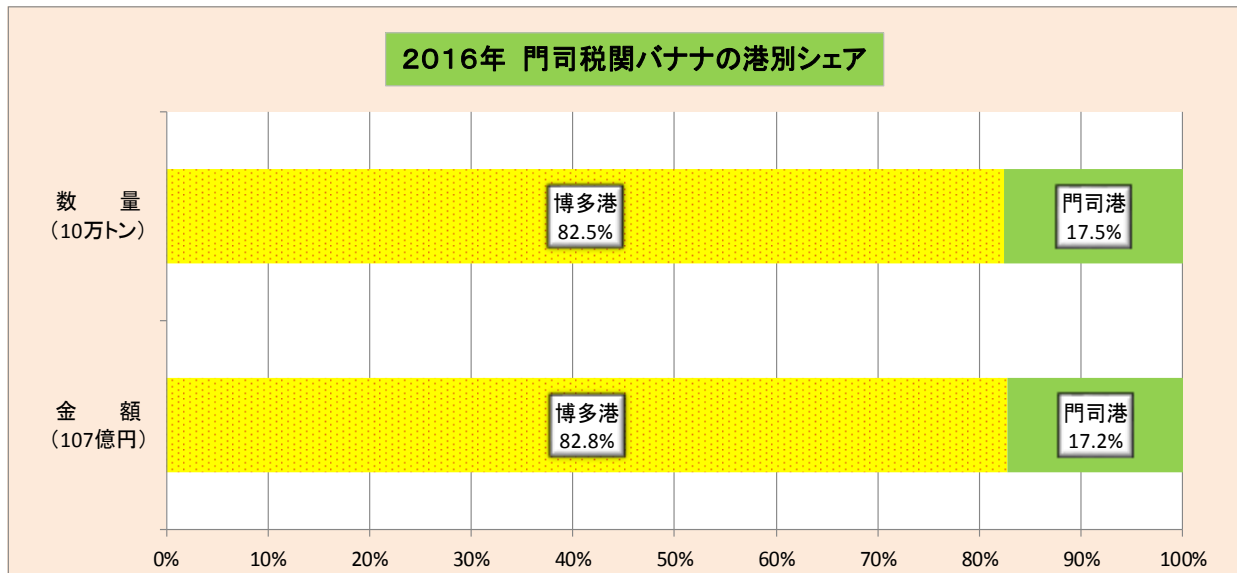
自然災害の影響で、輸入数量は減少傾向にありましたが、2015年からプラスに転じ、2017年は自然災害もなく順調に推移しているとのこと。



【門司税関 港別輸入シェア】

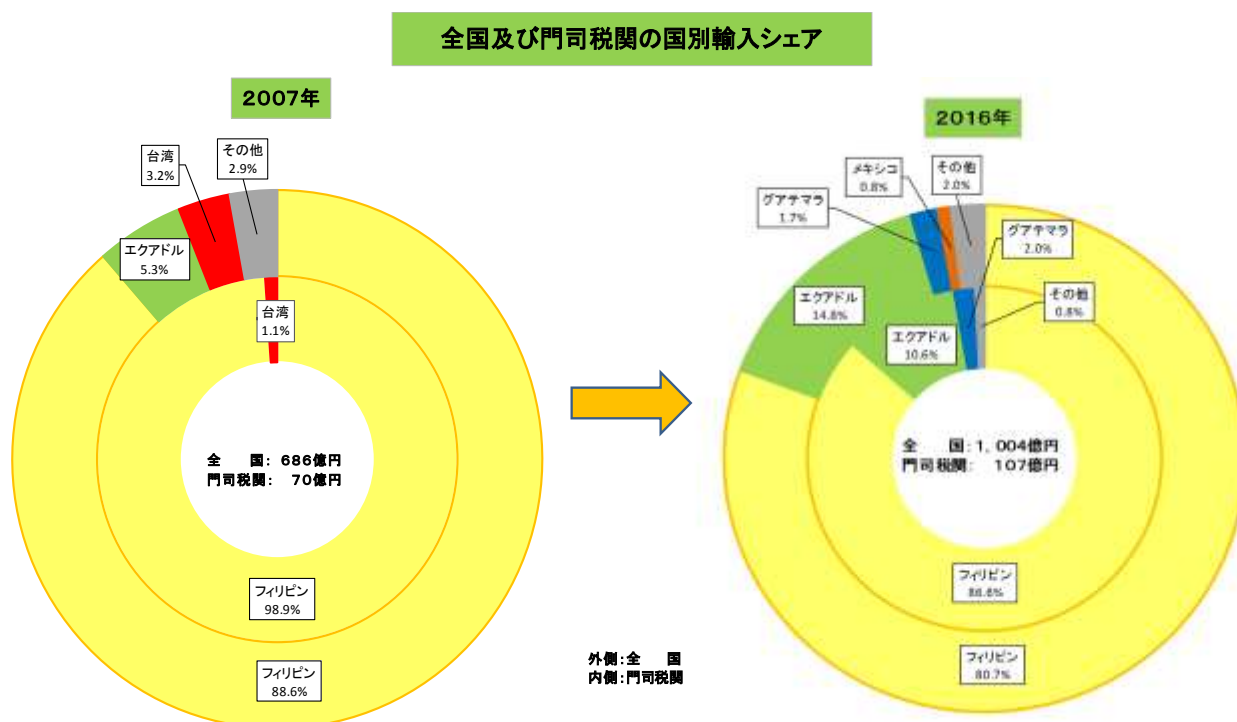
2016年の門司税関の港別輸入実績をみると、博多港が数量で82.5%（対前年比2.3%増）、金額で82.8%（対前年比1.5%増）、次いで門司港が数量17.5%（対前年比10.9%増）、金額17.2%（対前年比19.4%増）となっています。

全国における港別の順位は、数量及び金額ともに、博多港が第5位、門司港は第8位となっています。



【全国及び門司税関 国別シェア】

2007年の門司税関の国別の輸入金額シェアをみると、フィリピンが98.9%（対前年比9.6%増）、台湾が1.1%（対前年比23.7%減）でしたが、2016年になると、フィリピンが86.6%（前年比2.7%減）と1割程シェアを落とし、代わって、エクアドルが10.6%（対前年比63.2%増）、グアテマラが2.0%（対前年比45倍）と台風の影響のない中南米がシェアを伸ばしています。

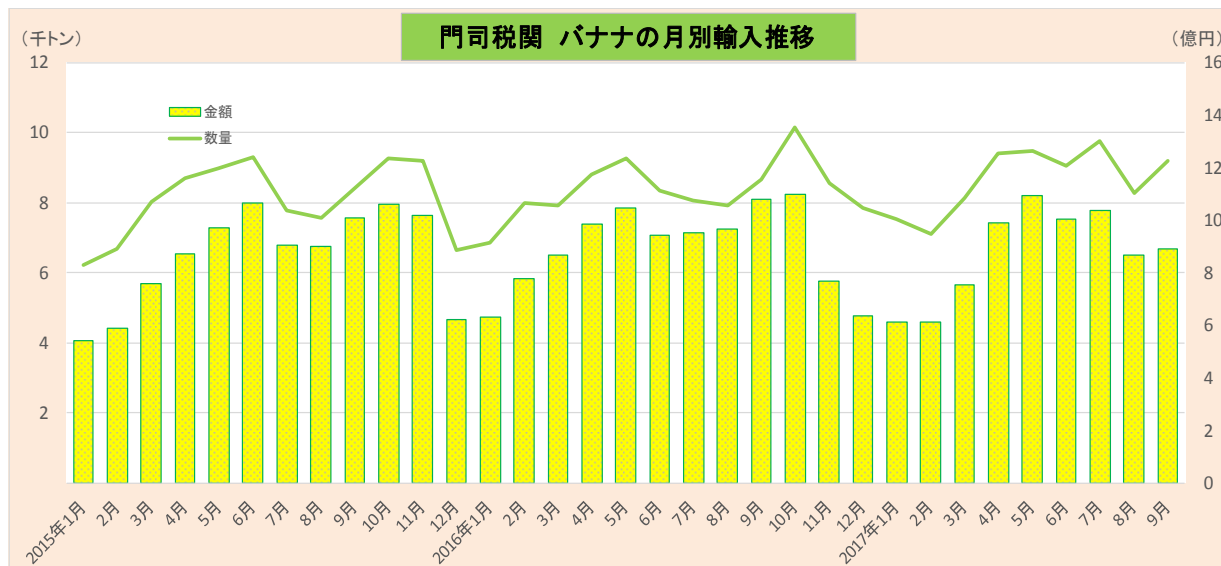


【月別推移】

バナナは、世界各地の熱帯地域で栽培されています。旬はなく、苗を植えて1年程で収穫できることから、年間を通して輸入されています。

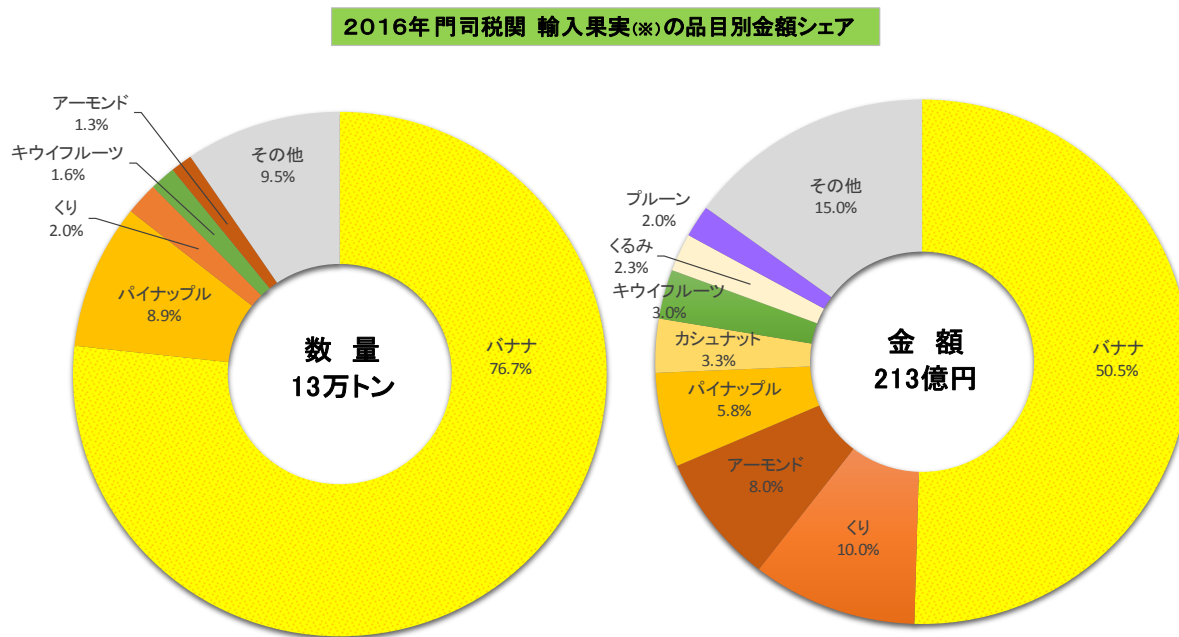
門司税関における月別の輸入量推移をみると、12月から2月頃の冬場は他の月に比べ、やや減少し、4月頃から増加しています。

みかん等の他の国産果物が、4月頃から少なくなることから、バナナの需要が増加すると考えられます。



【品目別シェア】

2016年の門司税関における輸入果実(※)の品目別金額シェアをみると、バナナが全体の50.5%（対前年比4.2%増）を占めています。続いて、くり10.0%（対前年比15.2%減）、アーモンド8.0%（対前年比39.0%減）の順となっています。



※果実は、輸入統計品目番号 第8類のものを計上

【おわりに】

総務省の家計調査によると、生鮮果物の購入数量は、2004年にバナナがみかんを抜き第1位になって以降、13年連続で1位を維持しています。

業界は、

- ・ 気象条件による生産量の不安定要因を解消するため、現地農園の整備を行うこと
- ・ 中国・中近東をはじめとした他国における需要増加の傾向のなか、現地農園と信頼関係を構築し、安定的にバナナが調達できる体制を維持していくこと
- ・ さまざまな栄養素がバランスよく含まれるバナナの魅力を伝えるため、特に果物離れの傾向のある若年層を中心にPR活動を展開していくこと

などにより、安定した輸入量を確保し、バナナの一層の消費拡大を目指したいとのことであり、今後もバナナの輸入は順調に推移していくものと思われます。

※本稿の「バナナ」は、概況品コード：0110103（バナナ（生鮮））を集計したものです。

※本稿において、「過去最高」とは、検索が可能な1979年以降です。

※2012年～2016年の統計数値は確定値です。

※港別輸入シェアは、通関官署の通関ベースで計上しています。

※統計数値の単位未満は、四捨五入を行うため、総数の内訳の計が一致しない場合があります。

本資料を引用する場合は、門司税関の資料による旨を注記して下さい。

本資料についてのお問い合わせはこちらまで

門司税関 調査部 調査統計課

TEL 050-3530-8380

<http://www.customs.go.jp/moji/>



① 門司税関 輸入推移

年	数量 (MT)			金額 (千円)		
		前年比	全国比		前年比	全国比
2007年 (H19)	100,669	94.3%	10.4%	6,955,875	109.1%	10.1%
2008年 (H20)	113,374	112.6%	10.4%	8,776,780	126.2%	10.3%
2009年 (H21)	132,128	116.5%	10.5%	9,812,459	111.8%	10.4%
2010年 (H22)	119,030	90.1%	10.7%	7,796,028	79.5%	10.5%
2011年 (H23)	114,680	96.3%	10.8%	7,647,633	98.1%	10.6%
2012年 (H24)	116,020	101.2%	10.7%	7,435,294	97.2%	10.5%
2013年 (H25)	100,480	86.6%	10.3%	8,104,656	109.0%	10.2%
2014年 (H26)	95,481	95.0%	10.1%	8,637,743	106.6%	10.1%
2015年 (H27)	96,842	101.4%	10.1%	10,317,039	119.4%	10.1%
2016年 (H28)	100,435	103.7%	10.5%	10,749,667	104.2%	10.7%
2016年 (1-9月) (H28)	73,866	103.0%	10.2%	8,248,827	108.3%	10.4%
2017年 (1-9月) (H29)	77,967	105.6%	10.4%	7,864,830	95.3%	10.4%

② 門司税関 港別輸入シェア

港	数量 (MT)			金額 (千円)				
		前年比	管内比	全国比		前年比	管内比	全国比
門司税関	100,435	103.7%	100.0%	10.5%	10,749,667	104.2%	100.0%	10.7%
博多港	82,813	102.3%	82.5%	8.7%	8,901,934	101.5%	82.8%	8.9%
門司港	17,622	110.9%	17.5%	1.8%	1,847,733	119.4%	17.2%	1.8%

③ 門司税関 国別シェア (2007年)

国	門 司 税 関					
	数量 (MT)			金額 (千円)		
		前年比	構成比		前年比	構成比
世界	100,669	94.3%	100.0%	6,955,875	109.1%	100.0%
フィリピン	99,940	94.3%	99.3%	6,880,540	109.6%	98.9%
台湾	729	93.0%	0.7%	75,335	76.3%	1.1%

④ 全国 国別シェア (2007年)

国	全 国					
	数量 (MT)			金額 (千円)		
		前年比	構成比		前年比	構成比
世界	970,581	93.0%	100.0%	68,615,865	104.7%	100.0%
フィリピン	878,954	96.5%	90.6%	60,792,444	109.8%	88.6%
エクアドル	52,067	51.4%	5.4%	3,670,034	56.1%	5.3%
台湾	18,870	118.9%	1.9%	2,181,294	103.0%	3.2%
その他	20,690	130.7%	2.1%	1,972,093	127.3%	2.9%

⑤ 門司税関 国別シェア (2016年)

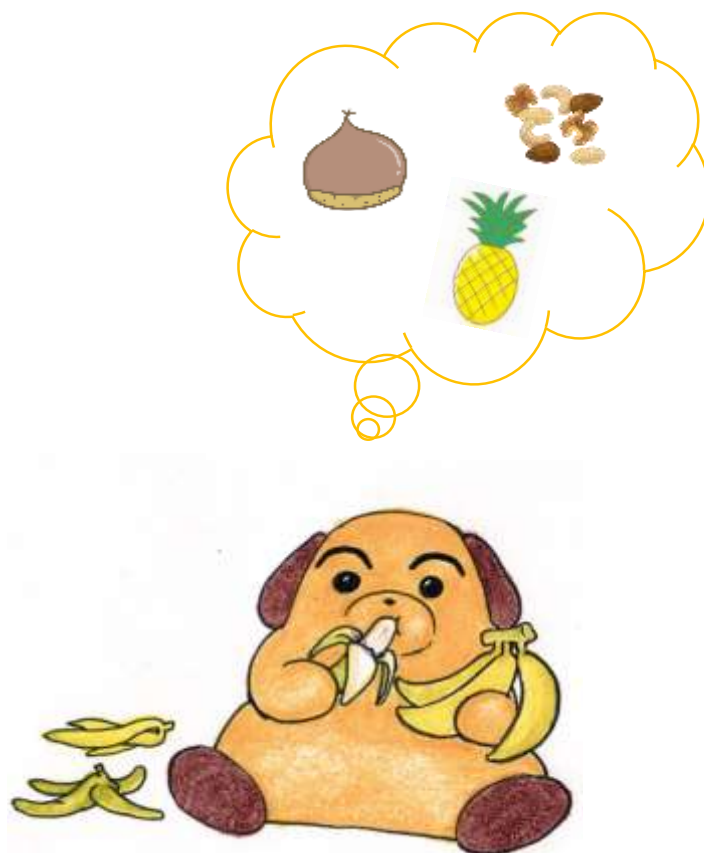
国	門 司 税 関					
	数量 (MT)			金額 (千円)		
		前年比	構成比		前年比	構成比
世界	100,435	103.7%	100.0%	10,749,667	104.2%	100.0%
フィリピン	85,575	95.1%	85.2%	9,307,412	97.3%	86.6%
エクアドル	11,884	188.3%	11.8%	1,143,131	163.2%	10.6%
グアテマラ	1,908	3,469.1%	1.9%	210,916	4,512.5%	2.0%
その他	1,068	205.8%	1.1%	88,208	192.0%	0.8%

⑥ 全国 国別シェア (2016年)

国	全 国					
	数量 (MT)			金額 (千円)		
		前年比	構成比		前年比	構成比
世界	956,756	99.7%	100.0%	100,415,262	98.3%	100.0%
フィリピン	751,221	91.1%	65.5%	81,021,801	92.6%	80.7%
エクアドル	157,805	157.0%	15.5%	14,829,344	138.3%	14.8%
グアテマラ	16,915	114.8%	7.5%	1,679,159	116.9%	1.7%
メキシコ	8,629	201.5%	2.9%	827,479	157.9%	0.8%
その他	22,186	145.0%	8.6%	2,057,479	109.4%	2.0%

⑦ 門司税関 輸入推移

年	月	数量 (MT)	金額 (千円)
2015年	1月	6,222	542,277
(平成27年)	2月	6,674	587,357
	3月	8,022	757,548
	4月	8,702	871,820
	5月	9,000	972,407
	6月	9,319	1,064,915
	7月	7,767	907,147
	8月	7,580	902,417
	9月	8,433	1,008,588
	10月	9,269	1,060,637
	11月	9,199	1,019,400
	12月	6,655	622,526
2016年	1月	6,857	632,313
(平成28年)	2月	8,010	778,009
	3月	7,923	866,840
	4月	8,798	986,356
	5月	9,275	1,045,261
	6月	8,365	941,687
	7月	8,052	950,802
	8月	7,915	968,058
	9月	8,671	1,079,501
	10月	10,159	1,099,458
	11月	8,544	766,896
	12月	7,866	634,486
2017年	1月	7,532	613,454
(平成29年)	2月	7,103	613,690
	3月	8,151	753,545
	4月	9,419	990,809
	5月	9,482	1,095,843
	6月	9,055	1,005,773
	7月	9,761	1,035,460
	8月	8,278	867,103
	9月	9,186	889,153



⑧ 門司税関 果実の品目別輸入シェア (2016年)

品目	統計品目番号	数量 (KG)	金額 (千円)		前年比	構成比	
			前年比	構成比			
バナナ	0803.10-100、 0803.90-100	100,436,931	103.7%	76.7%	10,749,667	104.2%	50.5%
くり	0802.41-000、 0802.42-000、 0812.90-430	2,607,393	81.4%	2.0%	2,133,443	84.8%	10.0%
アーモンド	0802.12-200	1,733,321	75.5%	1.3%	1,709,828	61.0%	8.0%
パイナップル	0804.30-010	11,706,257	96.1%	8.9%	1,239,236	111.9%	5.8%
カシューナット	0801.32-000	718,498	97.1%	0.5%	706,685	96.1%	3.3%
キウイフルーツ	0810.50-000	2,049,126	126.5%	1.6%	647,502	116.1%	3.0%
くるみ	0802.32-000	689,679	256.3%	0.5%	498,191	143.7%	2.3%
ブルーベリー	0813.20-000	841,158	127.1%	0.6%	418,479	108.2%	2.0%
その他	その他	10,124,729	113.9%	7.7%	3,198,966	92.2%	15.0%



バナナのお話



【日本遺産とは】

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するものです。

北九州市と下関市が共同で申請した「関門”ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」は、平成29年4月28日に日本遺産に認定されました。福岡県では2件目、山口県では初の認定となります。

門司港では、毎年、門司区役所主催でバナナの叩き売りの実演やバナナに関する資料の展示など、様々なイベントが開催され、連日多くの観光客で賑わいます。



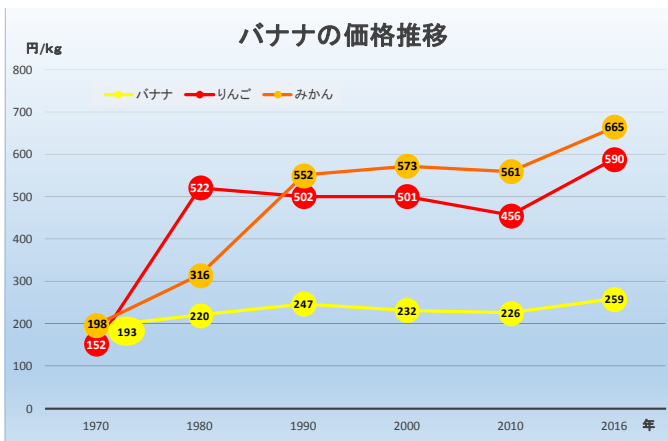
バナナ博物館（2017年10月7日（土）～9日（月）開催）
世界各国の珍しいバナナの展示

【バナナの価格推移】

日本バナナ輸入組合の調査（※1）によると、バナナを食べる理由は、「健康によい」が約61%でトップ、以下「手頃な値段だから」「おいしいから」が上位に挙げられています。

バナナの価格推移（※2）をみると、他の果物が1970年以降大幅に上昇しているのに比べ、30年以上の間200円代で推移しています。

バナナは、小売価格がほとんど変わらないことから「物価の優等生」といわれるそうです。



【バナナの栄養素】

バナナには、ブドウ糖、果糖、ショ糖など、様々な糖質が含まれています。それぞれエネルギーに変わる速度が異なるため、素早くエネルギーに変え、しかも長く持続することから、スポーツ時には最適な食べ物です。また、ナトリウム（塩分）を排出する役割のあるカリウムを多く含むため、高血圧に効果があります。その他、便秘解消に役立つ食物繊維や体内の過剰な活性酸素を抑える抗酸化成分など、たくさんの栄養素が豊富に含まれています。

バナナは、1年を通して手頃な価格で食べられ、身体に良く、しかも美味しい、とても優れた果物です。

※1：第13回バナナ・果物消費動向調査（2017年7月 日本バナナ輸入組合）

※2：小売物価統計（日本バナナ輸入組合ホームページ）

